

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北海道			代表者名	鈴木 直道
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	総合政策部官民連携推進局	連絡先電話番号	011-204-5158
担当者役職	主幹	担当者氏名	長谷 一巨	連絡先E-mail	
住所	060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ほっかいどう応援団会議「応援meetアップ」		
概要	道内市町村に対し地方創生に資するデジタルを活用した先進的な取り組み等に関する有益な情報提供を行う。デジタルを活用し地域住民が自分らしく活躍できる就労環境づくりに関して、先進的な事例等を交えた講演を依頼したい。				
支援を求める分野	働き方 テレワーク				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年2月21日	講演(実地)	10時30分	16時30分	90
			活動時間（分）	270	
2-2. 派遣場所	会場名	北海道庁		最寄駅	札幌駅
	所在地	札幌市中央区北3条西6丁目		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上前 知洋
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体のみならず、企業の理解促進にもつながるような構成で立科町の取組をわかりやすく説明していただいた。また、参加者からの質疑応答においては、失敗例も挙げていただき、非常に参考になった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	28人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	11		17	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	市町村においては総合計画や総合戦略においてデジタルを活用した施策等についての検討も行っているが、この際の視点やノウハウ、先進事例等についての情報収集が十分にできないという課題を抱えている市町村も見られる。				
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	自治体や企業がデジタルを活用した新しい働き方に関する先進事例を知ることで、地域における雇用創出等の事業展開へ活かす。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	○事業詳細ヒアリング(10:30~12:30) セミナーの実施に先立って、事業詳細のヒアリングを実施した。セミナー用の資料だけではわからなかった項目について質疑応答を行い、同様の事業を道内で展開・紹介する際の細かなノウハウ等や今後の展開についても確認できた。また、事業に関する報道資料や広報物についても收受し説明を受けた。 ○セミナー講師(14:00~16:30) 移住者・子育て世代・障がい者・高齢者・ニートひきこもりなど、多様なバックグラウンドを持つ住民がデジタルを活用し自分らしく活躍できる就労環境づくりに関して、先進的な事例や市町村において取り組む場合のポイントについて情報提供いただいた。また、企業との連携促進に向け、企業側の理解にもつながるような事例の紹介をしていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	広く道内自治体、企業等に対して、デジタルを活用し、どこにいでもたれもが働ける新しい働き方である社会福祉型テレワークの情報提供することができた	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 特になし	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 セミナー内容で参加者が役に立ちそうだと感じた内容として、「社会福祉型テレワークの導入による社会参加へのアウトリーチ」「構想から現在に至るまでの得られた効果と課題」「PPP事業での有効な提案アイデアとして知見が広がった」が挙げられた。また、社会福祉型テレワークの導入や活用にあたっての課題点として、「導入に関する理解」「導入を検討する企業側の目線がどこにあるか。社会福祉型テレワークとは、という点を理解し腹落ちしていないと、お互いに辛い思いをする可能性が大きい。」「完全な民間事業にはなりづらい難しさや、収益事業として個人事業主の育成やインボイス対策など」が挙げられ、参加者それぞれの社会福祉型テレワークに対する理解度が深まった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定 道内の自治体でマッチングが可能か否かの検証を行う必要がある。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	地域課題解決に向け、応援団企業との連携により、市町村に有益な情報提供を行う機会を増やし、応援団企業と市町村との繋がりを創出し、地域課題解決に向けた支援の獲得やノウハウの活用に結びつけ、地域住民がそれぞれの地域で自分らしく活躍できる環境の創出につなげる。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 掲載許可 <input type="checkbox"/> 掲載可 <input type="checkbox"/>		
<p style="text-align: right;">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</p>		
<p style="text-align: center; color: red;">なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		